

く、我々、海洋高校でやってきました。要するに市が精いっぱいやれるものは、どうなんだというものを精いっぱいやってきました。それによって生徒も、また先生もそれに向かって一緒になって動いていったわけでございますので、やはりまずは学校と、そして生徒がどういうものに魅力を感じているのか、糸魚川で学ぶとしたら何を学びたいのか、そういうものをしっかりとある程度、方向性を詳しく見させてもらって、じゃあ行政は、じゃあどれを応援できるのかという形に持っていくのが、私は一番いいのではないかなと、我々も当然でき得る知識、我々の持ち得るテクニック等は、当然提供もさせてもらう中で判断してもらっても結構だと思ってるわけでございますので、そういう形で私は、やはりこの糸魚川には3つの高校が必要と考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

古畑議員。

20番（古畑浩一君）

これで終わりますけれども、今回は一連して魅力ある、やっぱりまちづくり、魅力ある人材づくり、そしてやっぱり必要不可欠である夢づくり、最後は高校という具体的なところで話は出ましたけど、往々にして、やはり市長、もう少し行政全体熱を込めて、最後の市長の答弁よかったですよ。やはりそういう市長の熱が伝わって、全員が新しいまちづくり、糸魚川の防衛線のために頑張ろうという、そういう意気込みを私はもっと示していただきたいというふうに思います。

これで終わります。ありがとうございました。

議長（倉又 稔君）

以上で、古畑議員の質問が終わりました。

暫時休憩します。

再開を2時40分といたします。

午後2時30分 休憩

午後2時40分 開議

議長（倉又 稔君）

休憩を解き会議を開きます。

次に、新保峰孝議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。〔16番 新保峰孝君登壇〕

16番（新保峰孝君）

日本共産党の新保峰孝です。

私は、産業振興策について市独自の経済対策、新幹線騒音対策、並行在来線（えちごトキめき鉄道）等の利便性向上について、米田市長のお考えをお聞かせ願いたいと思います。

総務省が2月26日、公表した国勢調査の速報値によりますと2015年10月1日現在の日本

の総人口は、約1億2,700万人、前回調査より約95万人減となっているとのことであります。1920年の調査開始以来、初めての減とのことであります。

人口が減ったのは39道府県、増加は8都県で、東京一極集中が続いております。国の政策の結果とはいえ地方自治体も独自の努力が必要と考えますので質問いたします。

1、産業振興策について、第2次総合計画策定に関する市民アンケート、一般向けの結果で、働く場に恵まれているかを問う項目では、余り思わない、そう思わないが前回76%、今回71%、5%減っているとはいえ7割が恵まれているとは思えないと回答しております。それらも踏まえて伺います。

#### 1、産業振興策について。

- (1) 糸魚川市の産業構造について、どのように認識しているか。
- (2) 糸魚川市の産業資源の特徴について、どのように捉えているか。
- (3) 当市の産業発展の方向をどのように考えているか。
- (4) 中小企業振興条例を制定し、起業、中小企業振興の強化を図るべきではないか。また、1次産業等も含めた幅広い起業支援の強化を図るべきではないか。
- (5) 糸魚川高等職業訓練校とハローワークとの連携はどのようになっているか。求人に合致した求職者訓練が行われているか。
- (6) 地域振興財団、農業振興公社等、行政とは別の地域振興、産業振興の組織、団体をつくることにより、地域産業の振興に弾力的に取り組めるようになると思うが、どうか。

#### 2、市独自の経済対策について。

- (1) 地域経済の現況をどのように捉えているか。
- (2) 市独自の経済対策について、どのような考え方で取り組んでいるか。
- (3) 雇用、仕事づくり等の直接的効果を求めるものと、誘客面での間接的効果を期待するもの等あると思うが、波及効果も含めどのように考え取り組んでいるか。
- (4) 遺跡発掘調査のような、直接的雇用の取組も必要ではないか。
- (5) 商店等のリフォーム助成を、仕事づくりと誘客効果を高める面も含めて検討したらどうか。

#### 3、新幹線騒音対策について。

- (1) 北陸新幹線の騒音、振動被害はいつ頃までに解決される見通しか。
- (2) 騒音、振動の解決策について、関係住民の方たちとの話し合いはどのようになっているか。
- (3) 騒音、振動を解決するには、根本的にはトンネル内の空気圧を下げるしかないのではないかと。車両をより流線形にしてスピードを落とすか、トンネルの途中に空気を抜く穴を開け風圧を下げるしか方法はないと思うがどうか。
- (4) それができないのであれば、被害の大きい住民の方々には家屋移転等を含めた交渉をして了解を得られるような努力をするしかないのではないかと。緩衝口を塞ぐ工事、明かり区間の吸音板の設置はどうなったか。JRの対応はどうか。

#### 4、並行在来線（えちごトキめき鉄道）等の利便性向上について。

- (1) ダイヤ改正も含め、えちごトキめき鉄道の利便性の向上を図る取組についてはどのようになっているか。
- (2) 新駅設置についてはどうか。

(3) JRの旧駐車場用地の所有はどうなっているか。新幹線と大系線、日本海ひすいラインにおける利用者の駐車場無料サービスの考え方についてお聞きしたい。

以上、1回目の質問といたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

新保議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目から3点目につきましては、製造業と建設業の就業人口が4割弱を占め、公共事業や大手企業の発注に依存する中小企業が多いものと認識いたしております。

また、市内に豊富に存在する石灰石を原料とした化学工業や窯業を中心とする工業のほか、高低差4,000メートルの地形の中で営む農業・水産業を基幹産業と捉えております。これら既存企業の技術革新や市場開拓などとともに新たな分野へのチャレンジや6次産業化、農商工連携による新たな事業展開も必要と考えております。

4点目につきましては、条例の制定は考えておりませんが、引き続き第1次産業を含め関係団体と連携しながら市として創業支援や中小企業の振興に努めてまいります。

5点目につきましては、これまでも市、職業訓練校、ハローワークが連携して取り組んでいるところであり、今後とも求人に対応した職業訓練が行われるよう連携を図ってまいります。

6点目につきましては、地域産業の振興に一定の効果が期待できる一方、産学官金の連携強化が不可欠でありますので、さらなる調査研究が必要であると考えております。

2番目の1点目につきましては、糸魚川経済団体連絡協議会の昨年、前期の景況アンケート調査では、景況感、売上高、営業利益とも全体としてやや悪化傾向を示しております。後期の景況アンケートの結果については、まだ公表されておられません。

2点目につきましては、暖冬少雪に伴う除雪費の減少を市民に還元するなど地域経済に好循環を生み出すことが必要であると考えております。

3点目と4点目につきましては、公共工事の発注などによる直接的効果と、プレミアム商品券やリフォーム補助金など市内の購買促進による間接的効果を期待いたしております。

5点目につきましては、今回のリフォーム補助金では、商店は対象としておりませんが、新年度では、地元産材を利用する飲食店への助成を検討いたしております。

3番目の1点目につきましては、早期の解決に向けて、鉄道・運輸機構において対応を行っているところであります。

2点目につきましては、地元自治体と調整を行っており、市も住民からの苦情等の相談を受けて対応いたしております。

3点目につきましては、鉄道・運輸機構とJRで音源対策を検討し、実施する予定であります。

4点目につきましては、まずは音源対策等騒音防止対策の実施を優先するものとしたしております。

4点目の1点目につきましては、ダイヤ改正において新幹線との接続の向上に努めております。

2点目につきましては、県、市、えちごトキめき鉄道と連携し、新年度では概略設計を進めてま

いります。

3点目のJRの旧駐車場用地につきましては、えちごトキめき鉄道の所有地となっております。新幹線については、南北駐車場において96時間まで無料サービスを行っておりますが、大系線と日本海ひすいラインにつきましては、JR及びえちごトキめき鉄道と協議をしまいたいと考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

合併した2005年、平成17年の国勢調査と昨年行われた2015年の調査で、糸魚川市の人口を比較しますと、この10年間で4万9,844人から4万4,161人となり、5,683人減、11.4%の減で、毎年568人減ってきたこととなります。2015年の就業者数はまだ出ておりませんので、2005年と2010年、平成22年の国勢調査で就業者数を比較しますと2010年、平成22年の1次、2次、3次産業の就業者の割合は、6.37%、37.57%、55.95%となっており、前回2005年の調査に比べ、全体では4.3%の減ではありますが、1次、2次、3次産業の就業者数の減少率は、1次30.2%、2次5.7%、3次3.4%となっております。どのように捉えておられるでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

特に、1次産業の部分でいいますと、私は3つの部分で捉えられるんだろうと思っております。1つは人の面の担い手、2つ目は農業にしても水産業にしても林業にしてもそうなんですけども、基盤というところがあるかと思えます。3つ目はそれぞれ共通するのが価格、それから所得につながる部分だろうと思っております。この3つが1次産業で共通の問題でないかなというふうに捉えております。今ここに来まして6次産業化、農商工連携、それぞれ1次産業、2次産業、3次産業と連携して取り組める事業がありますし、もう既に取り組んでいる部分もございますので、そういうところをしっかりと支援をしまいたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

就業者数の構成比を業種別で見ますと、2010年の数字ですが、製造業20.81%、建設業16.31%、卸売り・小売業14.09%、医療・福祉10.15%、サービス業5.24%、運輸・郵便業5.23%、宿泊業・飲食サービス業5.17%、農業5.0%などとなっております。ふえてきたのは、医療・福祉、減りが大きいのは農業となっております。今後の推移をどのように

考えておられますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

人口減少とあわせまして、その動きはまだ続くんじゃないかなと思っておりますけども、特に医療・介護の面につきましては、高齢化してきておりますので、その部分の就業者数はふえるものと思っております。1次産業のところにつきましては、所得の向上にあわせて、特に1次産業は生産基盤、それから生産の効率性等から人がふえなくても何とか就業していかなければいけないというところもございますので、減りながらも何とか1次産業を維持していけるんじゃないかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

「統計いといがわ」では、糸魚川市の面積746平方キロメートル、海岸線が51キロ、一番高い山が小蓮華山で2,766メートル、このほか2,000メートル以上の山が9つ、1,000メートル以上2,000メートル未満の山が12となっております。平成23年9月の国土利用計画では、森林86%、農用地3.6%、宅地1.5%等であります。耕作されない農地がふえ、害獣もふえております。第2次総合計画に関するアンケート調査結果概要では、人口減少対策では、雇用創出が433件と突出しております、いろんな意見がですね。雇用をつくり出すために何を資源と考え取り組むのか、幅はあると思いますけれどもどのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

既存企業の拡充、それから新たな分野への展開、それから、新たに起業・創業される部分への支援、それから1次産業、2次産業、3次産業の連携によることの新たな創業・起業というものが考えられますので、そういうところを見据えながら対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

市の木はブナでありまして、市の花はササユリ、市の鳥カワセミ、市の石ヒスイに示されますように自然環境に恵まれていること、糸魚川静岡構造線を境に東西の地質の違い、植物の多さ、東西文化の交流地点等自然を生かすこともあると思います。それらの活用も含めて、既存企業の振興、起業の取り組みの強化は非常に大事だと思います。今ほど連携ということでは言われましたけれども、どのような形で進めていかれようとしているのか伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

今、議員言われますように糸魚川の地域特性から生み出されます地域資源、石灰石も含めて地域資源、農林水産物、漁業、全てやはり糸魚川の地形から生み出される非常に魅力的な地域資源だというふうに思っております。

また、姫川港を中心として工業、窯業が盛んになってきてます。

また、姫川港は、リサイクルポートとしての機能も持ち合わせておりますので、それらを総合的に捉えて対応していく必要があるかと思っておりますけども、特に1次産業のところの農業、水産業の資源といいますのは、非常に魅力があります。今、なりわいネットワークを通じて首都圏の居酒屋さんにも使っていただいておりますので、そういう魅力を関係団体、関係企業としっかりとつなぎながら販路の拡大につなげていきたいと思っておりますし、特に林業につきましては、市内の面積の約8割以上を森林が占有しておりますので、森林組合が主体となり認定事業体としっかりと手を組んで、これからの経営計画に沿った施策が進められるように支援してまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

交流人口の拡大も必要であります、それだけで雇用の拡大に結びつくわけではないように思います。当市の産業発展の方向を考えながら雇用の拡大を実現するための総合的な仕組みが必要と思いますが、どのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

地域資源を、またジオパークを核として交流人口の拡大、その交流人口の拡大から発生してまいります事業、それからそこで発生する企業、そういうことからの雇用の増を図っていくべきというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

中小企業支援策、今言われたこともそうでありますし、中小企業支援策や起業支援の施策いろいろと行われてます。それらを継続的に粘り強く行っていくためにも条例化して、既存の中小企業の振興、新しく事業を起こそうという方たちを支援する安定した仕組みづくりというものが必要ではないかというふうに思うんです。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

国におきましては、小規模企業振興基本法というものが制定されまして、今、議員言われますような振興条例というものの位置づけもあるわけでありまして、1回目の市長答弁でもお答えしましたように条例の制定は考えておりませんが、今まで以上に関係機関、関係団体との連携を密にしていきたいと思いますというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

調査研究をしっかりとやってみたいというふうな答弁だったと思いますが、条例化のよいところは、中小企業振興策の骨組みがしっかりして、市長がどなたになっても安定した取り組みができることではないかというふうに思います。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

方向性につきましては、今、総合計画の策定、基本計画の策定があるわけでありまして、その中でしっかりと位置づけてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

訓練校等の関係であります、技術の進歩により、働く人たちに求められる仕事の内容にも変化をもたらします。時代に合った職業訓練が必要と思いますが、求人にあった求職者訓練が行われているということであるのか伺いたと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

やはり不足している技術者もいるというふうに認識しております。それから、経済界、産業界で、またどのような技術が必要になっているのか、また、その技術者の育成について、どのような課題・問題があるのかということにつきましても関係団体、特にハローワークも含めてしっかりと情報共有する中で、旧の今井小学校で新たに職業訓練校が運営を開始したわけでありまして、その中で新たな事業として取り組めるように進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

現在の糸魚川高等職業訓練校を運営しているそういう団体がありますよね。そういう団体の制約があっているんな取り組みが柔軟にできない、そういうことはないんだと、現在のままだも十分いろんな時代の要請に応えた技能訓練ができるんだと、そういうことでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 斉藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（斉藤 孝君）

技能訓練を養成するために必要なハード、それから設備等にも限界があるかと思います。

それから、ソフト的なものについても取り組めるもの、取り組めないものあるかと思いますが、糸魚川の職業訓練校でできるだけ幅広く取り組んでいただけるように支援してまいりますけども、取り組めないものにつきましては、上越との連携もしっかりと取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

現在の訓練校を運営している団体でとてもできないというものがあれば、それに併設するような形で市独自に機能を加えるなり、そういうふうなことも考えられるんでないかなあと。それによって、この地域のいろんな新しい時代に合うような職を求める人たちの技能訓練ということも、そんなに大勢そこに人を張りつけなくても、何人が張りつけることによって可能になってくるんでないかというふうなことも考えるわけであります。ぜひ時代に合ったそういう技能訓練できるように取り組みを強化していただきたいと思います。

市とは別の組織・団体をつくって取り組むという点であります。ご承知のように飯田市では、近隣の市町村や各種団体等で作った株式会社南信州観光公社と市の担当部署の連携と分担でさまざまな取り組みを行っているとのことであります。会社では、振興公社、観光公社ですね、この南信州観光公社では、体験ツアーでキャンプ、乗馬、そば打ち、ジャムづくり、田植え、リンゴ狩り、草木染め、陶芸、ウォーキング、自然観察、また体験旅行、南信州体験こども村等を行って、援農事業のワーキングホリデー、人材育成の南信州あぐり大学院等を市の担当部署で行っているとのことであります。これは発展してきた組織・団体だと思えますけれども、このように行政とは別の組織・団体をつくることによって、地域産業の振興に弾力的かつスムーズに取り組めるようになるのではないかと思います。

内容については、ソフト事業、例えばこれもほかの市や、あるいは団体で取り組んでいますけども小学生・中学生・高校生を対象に地元の食材を使った料理コンテストを継続的に行うことで食育に役立つとともに、柔軟な発想が産業振興につながる、そういう可能性も出てくるのではないかと思います。一般やプロを対象にしたものを行えば、地域の資源活用で大きくまた生きてくるのでは

ないかと思えます。そのほかさまざまなソフト事業も含めての取り組みができるのではないかと思います。海洋高校の取り組みの例もあります。どのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

市長（米田 徹君）

お答えいたします。

今挙げた項目につきましては、糸魚川の中でもいろいろ取り組んでおる事業も結構多くあるわけございまして、その辺を1つの組織として運営できないかというようなご指摘だろうと思うわけでありまして。

それは、やはり立地都市の環境にもあるんだろうと思っております。当糸魚川市は、なかなか近隣に連携をとる、そういった一体となってるものはなかなか見出せない部分でございますが、近年、北アルプス日本海広域観光連携会議というものの中で、今取り組んでいるものもございまして。そのように1つの中で枠ではなかなか捉えられないものはあるわけでありまして、その事業ごとに取り組んでいるのが実情でございまして、また研究する中において新たな1つの組織として取り組めるようなものがあれば、私は必ずしも行政だけで進めなくてもいいと思ってるわけございまして、その辺はやはり柔軟に対応していきたいわけございまして、しかし、現在非常にまだまだ地域の皆様方と連携をとって一体となって行政も加わりながらやっていくのが一番理想的なことではなかろうかなと思ってる次第でございまして、現状を考えながら進めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

人口減少等で市のほうも人的、マンパワーが市のものでありますので、そういう中で商工農林水産課がその分野を全て把握して、全部を回していくというのはなかなか、今後、この先大変なんではないかなというふうに思うんです。一番合理的に事業なり、その産業の振興を図るには、どういう形が一番いいかというのを考えていく必要があるんでないかということでは言わせてもらいました。

そのほか耕作放棄地を活用した取り組みができる仕組みを考えることも可能ではないかと思えます。農家以外にも取り組めるところも、自治体ももちろんそうですが、そのほかでもあると思えます。柔軟な発想で取り組むことが地域産業の振興にも結びついてくると思いますがいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

斉藤産業部長。〔産業部長 斉藤隆一君登壇〕

産業部長（斉藤隆一君）

新保議員のご提案の南信州の取り組み、私も何度か足を運んだこともあります。原点は、やはり地域づくりということでありまして。それがいろんな形で法人化されたり、あるいはまた、関係する団体として残ってるわけですけども、非常に昔からそういったグリーンツーリズムももちろんです

けれども、ワーキングホリデーみたいな国の制度を積極的に受け入れて、地域の活性化を図るところが南信州の特徴的な取り組みなんだらうなというふうに思っていますし、歴史も随分ありまして、もう何十年という歴史を重ねて現在に至っているところもお聞かせいただいたことがあります。いずれにしても、こういった取り組みは、行政とは別にということでもありますので、やはり行政も一緒になってそういった地域の取り組みを支援していくという視点については、現在も同じ取り組みをしてるわけですが、そういった住民から湧き上がる地域活動、地域づくりの盛り上がり行政として支援していくというところは、引き続きまた行っていかなければならないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

この糸魚川市の地域にもいろんな有効に活用できる資源というものがあるんでないかと思うんです。それらをいかに活用していくかという、そういう仕組みづくりというものをぜひ考えていただきたいと思います。

市独自の経済対策について伺います。

先ほどもお話ありましたが、商工いといがわ2月号を見ますと求人数が下がって、求職数が上っております。求人倍率も下がっております。一般家庭、営業、その他のガス・水道・電力使用量、一般住宅建築届出も減っております。状況を見ると悪くなっているように思われますが、どのように捉えておられるか、いま一度お聞かせ願いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

確かに雇用面では、厳しい状況もうかがわれます。1つ例を挙げますと、失業給付金でございますけれども、昨年の12月現在の失業給付金の資格決定を受けた人が32人、それから、給付金の受給を受けとる実人員が161人ということで、この161という数字は、同年同月に比べますと16人ふえているという状況でございますので、議員言われますように厳しい労働環境・雇用環境があるというふうには認識しております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

市の景気対策では、仕事づくりで公共事業の小規模修繕等住宅リフォーム補助、消費刺激策でプレミアム商品券補助等を行われておりますが、市の直接的雇用、それと仕事づくりと交流人口の拡大や誘客効果を高める効果も期待される商店版リフォームも検討したらどうかと、商店街等の活性化にもつながると思います。高崎市のまちなか商店リニューアル助成事業補助金の対象業種は、先ほど言われたものより幅広いですが、小売り、宿泊、飲食サービス、生活関連サービス業等とのこ

とでありました。この点についてはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤産業部長。〔産業部長 齊藤隆一君登壇〕

産業部長（齊藤隆一君）

今回の市の単独の景気対策は、新保議員もご承知のとりの背景がありまして、実行するものがあります。ご提案の商店等へのリフォームも確かに仕事づくりには、一定の効果は見込めるわけがありますけども、今回の限られた財源の中で市単独の景気対策をより広く市民に、もちろん商店を営む方であってもいいわけですが、住宅に供する部分につきましては、全ての市民を対象に今回行っていこうという取り組みであります。もちろんプレミアム商品券についても、ぜひ大勢の方から限られた部分ではありますけれども、大いにご利用いただいて消費喚起に少しでも貢献できたらという思いがあって今回実施するものでありまして、今回の経済波及効果とすれば、今回の1億1,000万の原資が6億を超える経済効果が出るのではというふうに、期待値でありますけれども思っているところでありますので、今回は、あえて商店等へのリフォームにつきましては、今回の政策の中には盛り込んでいないということであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

私は直接的な交流人口の拡大ということには結びつかないかもしれませんが、お客さんが市外からいろいろと来られる。そのときに、例えば新幹線でありて、糸魚川の駅前を通過して非常にきれいだというふう感じて、じゃあ町なかを少し回ってみようか、あるいはジオサイトへ行って回ってみようかというふうなときに、その誘客に直接的な効果なくても商店等のリニューアル助成事業を行うことによって、そういうお客さんに対する糸魚川市のイメージなり間接的な効果があるんでないかと。それと仕事づくりと両面ですよ、もうちょっと幅広い。そういう点で商店リニューアル助成ということも考えてもいいんでないかというふうに思うんですが、いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

齊藤商工農林水産課長。〔商工農林水産課長 齊藤 孝君登壇〕

商工農林水産課長（齊藤 孝君）

市長、1回目の答弁で申し上げました新年度では、地元産材を利用する飲食店への助成を検討するということですが、これは地元の杉を住宅に使っていただく場合のふるさとの木の家づくりの助成制度を各商店にまで、飲食店にまで拡大しようと、今検討してるものでございます。そうすることで、今、議員がお話のように交流人口で糸魚川に訪れていただいた方が糸魚川の杉で店内を改装されている部分も見えていただきながら糸魚川の杉のよさ、またあるいはおもてなしの部分も感じていただければなということで、糸魚川産材を利用する飲食店への助成について、新年度で検討をしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

ぜひ大いにそれもやっていただいて、それをさらに拡大していくということで大いに取り組んでいただきたいと思います。

それから、直接的雇用の点であります。先ほども質問させていただきましたけれども、例えば直接的雇用、いろいろやられて、市でもやられておりますが、ジオサイト周辺を常にきれいにしておく。これは来てくれた方たちへの礼儀だと思っておりますけれども、このような市の施策と関連した直接的雇用、市が採用する、例えば半年なり、どれだけなり、そういうこともこの景気対策、経済対策の中で検討していてもいいんじゃないかということでもあります。今、求められていること、今、市が行っていることに対して、もう少し取り組まなければいけないという点での直接的雇用ということではありますが、いかがでしょう。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

金子総務部長。〔総務部長 金子裕彦君登壇〕

総務部長（金子裕彦君）

お答えいたします。

かつては国の緊急雇用対策というようなことで、議員おっしゃる遺跡調査等も直接雇用でやったことがございます。今回の景気対策につきましては、今、提案申し上げておるような形のもので実施いたしております。おっしゃるような、例えばジオサイトにつながるアクセス道路の草刈り等々については、おいでになる皆さんの感触がよくなりますようにというようなことで、委託事業で予算の中に盛って実施いたしておるところでございます。そのような取り組みの中で、ジオサイトについてのおいでになる観光客の皆さんへのイメージアップという点についても十分配慮して対応しておるところであります。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

こういう委託事業ということではなくて、直接雇用するという取り組みも必要ではないかと、厳しくなればなるほどそういうことも必要ではないかということでもありますので、ぜひ検討していただきたいと思います。

新幹線騒音対策の関係であります。

3月14日に開業して、もうすぐ1年になるうとしております。新幹線鉄道騒音に係る環境基準では、もう十分ご承知のとおり住宅地70デシベル以下、商工業用地等75デシベル以下となっております。環境基準達成は、開業時直ちというふうになっております。トンネル出口の緩衝口を塞ぐ工事は、今年度中に工事を完了したいと、この前の私の質問に対してこのような答弁でございました。明かり区間の吸音板の設置も行いたいということではありますが、どうなっておりますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

お答えいたします。

緩衝口を閉じる工事については、梶屋敷地区においては今年度中に閉じる工事が終わる予定でございます。柱道のほうについては、若干ずれ込んで4月にずれ込むというような情報を得ておりません。申しわけございません。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

この緩衝口を塞いで吸音板を設置すれば解決できますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

その2つの工事で解決できるかと言われれば、それはここでできるという答えはできませんけれども、まずその2つをやると。その後もできなければ、さまざまな対策をとっていくということでお聞きはしております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

おおよそ被害状況を把握されているということでありましたが、市として、全体的に騒音・振動・日照被害等、どの地域にどういう被害が何件あるのかお聞かせ願いたいと思います。国の調査もあったことと思いますのでお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

まず能生地域においては、騒音については対象が60件程度、2次測定をやったうちの半数以上が70デシベル以上を超えておるといようなことでございます。

それから、あと糸魚川地域においては、梶屋敷地区において2次測定を終了しております。これも対象が22戸であります、それも半数以上は超過しているのではないかとということでございます。

あとは、糸魚川地区、それから青海地域については、2次測定は終了いたしておりますが、結果等については、まだ出ていないというような状況でございます。

それから、日陰補償については、能生地域では対象が6棟ということで、これについては補償は完了しております。それから、糸魚川地域においては、47棟ということで、これについても補償については完了いたしておると。青海地域においては、4棟ということで、これも補償については完了いたしております。

それから、農作物日陰補償については、能生地域、それから糸魚川地域、青海地域ともにございまして、これについては28年度に補償を完了したいというようなことでお聞きしております。

それから西能生地域の湯水について、4カ所ございましたが、これについても補償については終わっておるということでお聞きしております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

市のほうでしっかりと把握をして、きちんとこの問題が解決されるように取り組んでいただきたいと思います。

それで、その後、関係住民の方たちとの話し合い、報告をしたり、説明をしたり、その中で皆さんから出されてる意見もあったと思いますが、どういうふうな声が出されておりますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

お聞きしてる意見等は、まず第一に助成対象になる部屋が1人に1室ということで、ひとり住まいだと1部屋しか助成の対象にならないということがまずあります。それから、2次測定を行った後については、個々に通知結果をお知らせして、個々に交渉に入ってるということで、2次結果の測定について、全体的な住民説明会を実施してもらいたいという要望はいただいております。これについては、機構のほうにその旨をお伝えしてるところでございます。

それから、各戸の助成の補償といたしますか説明で、コンサルタント会社が補償等の説明を行っているということで、基本的に機構の人間でないものですから要望等を行っても決定権がないということで、この辺がすごく不信感があるということでお聞きしておりますので、この旨もやはり機構のほうにその旨伝えて、責任を持って機構のほうで対応してもらいたいというふうに言ってるところでございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

そういう間接的なやり方だといろいろまた問題が起こることがありますので、ぜひ今言われたように直接、機構なりJRなりが話を聞くという形で、そういうふうになるように引き続き頑張っ取り組んでいただきたいと思います。

新幹線の線路と住宅が近過ぎるのではないかというふうに思われるところがありますが、被害の大きい住民の方々には家屋移転等も含めた交渉が必要ではないかと私は感じたんですけども、こういう点の話は出ていないのかどうか、JRや鉄道建設運輸施設整備支援機構とはどのような話をしているかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

確かにすごい近いうちがございます。それで、これについては、例えば移転だとかそういうものの対象にならないのかということで機構に問い合わせしております。機構では、やはり直接かかったものでないと移転の対象にならないということで回答を得ておるんですけども、やはりこの辺のところ当初からの問題ではなかったのかなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

ずっと流れを見てますと、この機構のほうも何か補助なり助成のそういう決めがあって、これに沿って出してるんだよと。JRもそうですけども、自分たちが、この騒音・振動を出してる一番本人なんだという、そこが欠けてるんでないかと思うんです。その一番の責任を持たなければいけないところが人ごとのような話をしてるのでは困ると思うんです。ぜひ今、機構に問い合わせているということじゃなくて、あなた方が解決しなければならない問題でないですかというふうに市としてしっかりと物を言っていたきたいと思うんですが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答え申し上げます。

私も昨年の6月から長野のほうへ3回ほどまいりまして、抗議もしております。大変スピード感がないということで抗議をしておるんですけども、ただ、それにしましてもやはり鉄道・運輸機構は、全国的な新幹線騒音に対応するということで、基準とか規定とかそういうものが十分あります。そういったことで、例えばひとり暮らしの場合は1室しか、防音対策するのは1つの部屋ですと、でもそれはおかしいではないかということで、例えば茶の間と寝室、少なくとも2つ必要じゃないかということでやってきてるんですけども、なかなか今まで全国的にやってきた規定を変えるわけにはいかんということであります。そういったことで、私たちが抗議をしながら今何とか早く騒音対策するようにということやってるところでございますので、もうしばらく時間を頂戴したいと思います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

糸魚川市としてもそういうふうに頑張っておられるということは、話を聞いてわかりますけども、ひとり住まいの方であっても1つの部屋に1日中いるわけじゃないですよ。夜になれば、何時に休まれるかわかりませんが、新幹線の走ってる時間帯の間にこの部屋にいたり、外に出たりいろいろするわけです。そういうことも無視して1部屋だけという、そういうことでは困るというふうに私も思いますし、ぜひそういう点ははっきり改善するように、ほかのところはどうあろうと糸魚川市は糸魚川市の市民の皆さんに責任を負うわけですから、そういう立場でやっていただきたいと思います。時間だけ経って、いつまでも解決しないということのないように、ぜひしていただきたいと思います。

えちごトキめき鉄道等の利便性向上の関係で伺います。

2月15日の朝日町議会との議員連絡協議会で、あいの風とやま鉄道株式会社、日吉副社長から、あいの風とやま鉄道の利用状況と今後の取り組みについてと題する講演を聞かせていただきました。改善計画についてお話しいただきましたけれども、えちごトキめき鉄道の改善計画、どうなっているか、これまでも改善してきてはいるけれども、まだ不十分ということいろいろ言われております。この点についてお聞かせ願いたいと思います。列車の増車、本数の増、朝時間帯の混雑緩和、利便性向上のための取り組み、どのように改善されるか伺います。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

利便性の向上ということで、朝・夕の通勤・通学列車の増車、それといろいろと、えちごトキめき鉄道に要望はしておりますし、何とかならないものかということで副市長も言っておりますけども、改善には至っていないというのが状況でございます。

また、この春からは、上越へ通う学生がまたふえるという見込みでございますので、その辺も数字的に示す中で、やはり増車等の要望をして、実現に向かって要望していきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

利用者の方が運行時間帯全てで困っているというわけではないわけです。困ってる部分を改善してほしいと言ってるわけですよ、一番、朝なら朝の。何でそれが改善できないのか、何で改善できないというふうに言ってるんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

予備車をそこのところに増結した場合に、不測の事態が起こった場合に全線で運行ができなくなるということで、その以降の運行も支障が来ずということで予備車においては使わないで、やはり予備として置いときたいというのがえちごトキめき鉄道の言い分でございます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

いろんな改善するためにどういうふうにするかということで列車の数が決まってる、ここにディーゼルだけで直江津・糸魚川間というか泊までやるという、その中で考えなきゃならんという、そういうことなんだろうと思いますけども、工夫をして、どうしても予備車というものが置いとかなきゃならん、それは何かで、別の方法でこれを緊急の場合、対応するというふうなことできないんですか、これ。あるいは、その時間をもう少し工夫するとか、富山のあいの風とやま鉄道の場合、非常に工夫をしてやりましたよ。どういうふうにして運行計画の中でやりくりするかというのは、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

やはりえちごトキめき鉄道にもそういうやりくりだとか、どうしたらできるのかというようなものを前向きな検討をしていただきたいというふうに私自身も思っておりますし、そういうふうに通きかけていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

実現するようにやってください。

それから、高校統合の話もあります。新駅設置の話は、進め方を早める必要がある。ぜひこれも早くやっていただきたいと思います。こちらのほうはどういうふうになってますか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

市長も答弁しましたように28年度で概略設計等を計画し、その後、着々と進めていきたいというふうに思っております。

設置の可能性については、事業開始から5年というぐらいなスパンで今言われておりますけども、できるだけ早く設置ができるようにしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

県のほうで具体的な話が出る前に、これがある程度めどが立つようにぜひ取り組みを強化してやっていただきたいと思います。そういうふうにはできないんですか。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

織田副市長。〔副市長 織田義夫君登壇〕

副市長（織田義夫君）

お答え申し上げます。

新駅設置につきましては、県のほうと協力しまして着実に一步一步階段を上ってるという状況であります。そういったことで、もうしばらく時間を頂戴したいと思ってます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

総合的に考えなきゃいけないと思うんですよね、こういう鉄道の場合もです。新しい駅をつくる、もちろん十分検討するというのも大事ですが、早くやっていただきたいと思います。

補助金の関係についてはどうなってます。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

渡辺定住促進課長。〔定住促進課長 渡辺 勇君登壇〕

定住促進課長（渡辺 勇君）

新駅設置に関する国の補助金等については、平成28年度に交通網形成計画を立てて、国の補助対象に持っていきたいということで考えております。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

新保議員。

16番（新保峰孝君）

終わります。

議長（倉又 稔君）

以上で、新保議員の質問が終わりました。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶものあり〕

議長（倉又 稔君）

田中議員。〔7番 田中立一君登壇〕

7番（田中立一君）

市民ネット21、田中立一です。

発言通告に基づいて一般質問を行います。